

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33104	子どもの発達と社会 Society and Developmental Stages of Children	太田美鈴 児玉珠美	✓	専門	1	選択	1.2後期

科目の概要

本科目においては、保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育保育要領に基づき、動画や事例を通して、保育の基本を理解し子どもの発達を学ぶことを目的とする。子どもの成長を健康な心と体・言葉・非認知能力等の側面から整理し、子どもの姿から発達を捉えていく。また、子どもの言葉の発達と語りかけ方について理解を深め、社会人として人とながりを持って生きていくことの重要性と意味を理解することを目的とする。さらに、獲得した専門的知識・技術を活用し、自分の課題を解決する力を身に付ける。★保育者として実務経験があり、それを生かした講義、演習を実施する。

学修内容	到達目標
① 幼児教育・保育の基本について理解する。 ② 身体・言葉といった表現遊びの内容を学び、子どもの関わり方や表現遊びの楽しさを知る。 ③ 子どもの発達や子どもを取り巻く環境を理解し、子育ての課題を考察する。	① 幼児教育・保育の基本について概説することができる。 ② 身体・言葉といった表現遊びの内容を学び、子どもの関わり方や表現遊びの楽しさを理解することができる。 ③ 子どもの発達や子どもに関する社会情勢に目を向け、子育ての課題を見つけ考察することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 ・子どもを取り巻く環境について、日常的に観察したり考えたりして努力をすることができる。
	働きかけ力
	実行力 ・課題レポートに主体的かつ積極的に取り組みやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力 ・乳幼児が表現活動を楽しむために何をしていくべきか常に省察し、課題を見出していく姿勢をもつ。
	計画力
	創造力 ・子育てに役立つ遊びやかかわり方を考えることができる。
チームで働く力	発信力 ・グループワークでは、自分の意見を整理しながら述べるることができる。
	傾聴力 ・授業中は他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト：教員の作成プリント

参考文献：平成29年度改定（改訂）保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領
児玉珠美・上野萌子編著「0.1.2歳児の子育てと保育に活かすマザリーズの理論と実践」

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし

資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
・日常生活の中で、子どもの様子を観察し子どもに関する情報に関心を持つこと ・子どもたちの楽しめる表現遊びについて積極的に調べる努力をすること	・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする ・授業態度及び発表内容、提出レポート等によって評価する

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		40	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			50	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①幼児教育・保育の基本について概説することができる。</p> <p>②身体・言葉といった表現遊びの内容を学び、子どもの関わり方や表現遊びの楽しさを理解することができる。</p> <p>③子どもの発達や子どもに関する社会情勢に目を向け、子育ての課題を見つけ考察することができる。</p> <p>上記の到達目標について、レベルS(秀)の基準は、成果発表、レポート、社会人基礎力の総合計が90点以上とする。レベルA(優)の基準はレポート、成果発表、社会人基礎力の総合計が80点以上～90点未満とする。</p>	<p>①幼児教育・保育の基本について概説することができる。</p> <p>②身体・言葉といった表現遊びの内容を学び、子どもの関わり方や表現遊びの楽しさを理解することができる。</p> <p>③子どもの発達や子どもに関する社会情勢に目を向け、子育ての課題を見つけ考察することができる。</p> <p>上記の到達目標について、レベルB(良)の基準は、成果発表、レポート、社会人基礎力の総合計が70点以上80点未満とする。レベルC(可)の基準はレポート、成果発表、社会人基礎力の総合計が60点以上～70点未満とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 本科目の目的と内容について理解する。 自分の幼少期を振り返り、楽しかったことを話し合い発表する。また、出産すること子どもを育てることについて考える	講義 グループ討議 発表 発表の解説をし学びのフィードバックをする。 (太田)	・本科目の目的と内容について理解することができる。	予習:自分の幼少期の楽しかった思い出をまとめておく。 復習:本科目の目的と内容についてまとめておく。	90	主体性 規律性
2	DVD「プルミエール・私たちの出産」の視聴を通して母になることの感動と責任を受け止める。	DVD視聴 感想レポート記述① (児玉)	出産の意味のついて自分なりに考えDVD視聴を通してさらに深く考えることができる。	予習:出産とは何か、自分なりに考えておく 復習:感想レポートを完成させる	90	主体性 規律性
3	乳幼児の言葉の発達について学ぶ(1)人類と言葉 人類の進化と言葉の誕生について説明を受け理解する。	講義 前回の動画についての感想発表 発表の解説をしフィードバックする (児玉)	人類の進化と言葉の誕生について理解することができる。	予習:旋回の授業の感想レポートを提出する 復習:授業内容を振り返り疑問点を明らかにする	90	主体性 規律性
4	乳幼児の言葉の発達について学ぶ(2) 新生児	前回の授業の振り返りと質疑応答 講義 発表 (児玉)	新生児の言葉の発達の特徴について理解することができる	予習:新生児についての調べ学習 復習:授業内容を振り返り疑問点を明らかにする	90	主体性 規律性
5	乳幼児の言葉の発達について学ぶ(3) 乳児	前回の授業の振り返りと質疑応答 講義 発表 (児玉)	乳児の言葉の発達の特徴について理解することができる	予習:乳児の言葉についての調べ学習 復習:授業内容を振り返り疑問を明らかにする	90	主体性 規律性
6	乳幼児への語りかけ方マザリーズについて学ぶ	前回の授業の振り返りと質疑応答 講義 発表 (児玉)	新生児への語りかけ方マザリーズについて理解することができる	予習:乳幼児へ語りかけるときにどのような変化があるか考える 復習:授業内容を振り返り、疑問点を明らかにする	90	主体性 規律性
7	絵本の読み聞かせについて学ぶ。絵本の選び方、読み聞かせの方法について説明を聞き理解する。相互に絵本の読み聞かせをし、意見交換を通して読み聞かせの仕方を工夫する。	前回の授業の振り返りと質疑応答 講義 発表 (児玉)	発表に沿った絵本の選び方を理解し、子どもを惹きつける絵本の読み聞かせをすることができる。	予習:自分の読みたい絵本を用意し、対象年齢の発達過程について調べる。 復習:選んだ絵本の読み聞かせ方法について工夫し練習する。	90	主体性
8	脳と言葉についてのDVD視聴をする。乳幼児の脳と言葉の発達について理解する。	DVD視聴 感想レポート記述② (児玉、太田)	脳と言葉についてのDVD視聴をする。乳幼児の脳と言葉の発達について理解することができる。	予習:授業内容を振り返り疑問点を明らかにする 復習:授業内容を振り返り疑問点を明らかにする	90	実行力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子どもの発達を場面から捉える(1) 0.1.2歳児の発達をDVD視聴を通して学ぶ。	講義 DVD視聴 グループ討議 感想レポート記述③ (太田)	0.1.2歳児の発達を具体的な場面を通して理解することができる。	予習:0.1.2歳児の発達の特徴について調べる 復習:授業内容を振り返り疑問点を明らかにしておく	90	発信力 傾聴力
10	子どもの発達を場面から捉える(2) 0.1.2歳児の発達を具体的な場面の事例を通して学ぶ。	前回の授業の振り返りと質疑応答 講義 グループ討議(事例検討) 発表について解説しフィードバックする (太田)	0.1.2歳児の発達を具体的な場面を通して理解することができる。	予習:0.1.2歳児の発達の特徴について調べる 復習:授業内容の疑問点を明らかにする	90	課題発見力 傾聴力 規律性
11	子どもの発達を場面から捉える(3) 3.4.5歳児の発達を具体的な場面の事例を通して学ぶ。	前回の授業の振り返りと質疑応答 講義 グループ討議(事例検討) 発表について解説しフィードバックする (太田)	3.4.5歳児の発達を具体的な場面を通して理解することができる。	予習:3.4.5歳児の発達の特徴について調べる 復習:授業内容の疑問点を明らかにする	90	課題発見力 傾聴力 規律性
12	子どもの発達を場面から捉える(4) 発達に合わせた玩具の役割を学ぶ。	前回の授業の振り返りと質疑応答 講義 グループワーク(玩具制作) 途中経過の発表 (太田) 発表の解説を通してフィードバックする	発達に合わせた玩具の役割を理解することができる	予習:乳児の玩具について調べておく 復習:乳児の玩具について構想を練る	90	主体性 発信力 規律性
13	子どもの発達を場面から捉える(5) 発達に合わせた玩具を考案し作成する。	グループワーク(玩具制作) 作品発表 作品の解説を通してフィードバックする (太田)	発達に合わせた玩具を作ることができる	予習:乳児の玩具について調べておく 復習:他者の意見を聞き、玩具の改善をする	90	主体性
14	DVD「脳の心～人はなぜ愛するか」視聴を通して、人間同士の感情や人とのつながり、人間社会に生きる意味を考える	DVD視聴 講義 感想レポート④ 今回の学びについて質疑応答しフィードバック (児玉)	DVD「脳の心～人はなぜ愛するか」視聴を通して、人間同士の感情や人とのつながり、人間社会に生きる意味を考えることができる。	予習:脳と人間関係について調べておく 復習:授業内容を振り返り疑問点を明らかにしておく	90	主体性 創造力
15	15回の授業内容を振り返り、学んだことや今後の課題等を記述し発表することで学びを深める。	講義 グループ討議 レポート作成 質疑応答しフィードバックする (太田)	授業内容を振り返り、理解が不十分な点について見直し、今後の課題を見つけ出すことができる。	予習:15回の授業を振り返り、学んだことや分からないことをまとめておく 復習:今後の課題を明らかにし、振り返りレポートを提出する	90	主体性 発信力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力